令和８年度　洋上風力発電調査研究事業

北海道石狩市
先進地視察報告書

いちき串木野市　産業立地課

洋上風力発電視察　実施要領

１．目的

洋上風力発電構想の実現と産業拠点化を目指し、令和4年度から洋上風力発電調査研究事業を実施し、各種情報の収集・整理や海域の利用状況を基にしたゾーニングマップ策定などに取り組むとともに、シンポジウムや住民説明会を開催して関係者や市民の皆様への理解促進を図ってきました。

一方で、洋上風力発電に対する不安や懸念の声もあることから、先進地視察を実施し、更なる理解促進と機運醸成を図ります。

２．行程（２日間）

（１日目）８月２０日（木）　意見交換

⑴ 石狩市役所（企画政策部　企業連携推進課）

（２日目）８月２１日（金）　視察、意見交換

⑴ GPI（グリーンパワーインベストメント）

３．参加者

⑴ 一般公募　２０名
⑵ 市職員　　３名　　合計　23名

４．その他

洋上風力発電に対する理解促進等の効果を測定するため、視察に参加した市民20名に対し視察後アンケートを実施

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)

石狩市役所 企画政策部　企業連携推進課より、石狩市の概要、洋上風力発電の取り組みや今後の展望、地域で産まれた再生可能エネルギー（洋上風力や太陽光、バイオマス）を地域で活用する「再エネの地産地活」の推進等について説明を受けた（都合により一部内容変更）。



石狩市役所　外観



石狩市の位置

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)



石狩市役所　説明時の写真



説明資料（※資料別途ご覧いただけます）

★参加者からの事前質問に対する石狩市様からのご回答

【漁業・海洋環境への影響に関する質問】
Q1.貴市における漁業種類、就業者数、漁船規模及び生産数量、金額などについて

A1-1.漁業種類について

・さけ定置網漁業を中心として、ニシンやシャコ、ヒラメ等の刺し網漁業、なまこ桁曳(けたひき)網漁業、たこ漁業、ホタテ養殖業及び採介藻漁業などの沿岸漁業。

・石狩川等でワカサギ等の内水面漁業 。

A1-2.就業者数について

・組合員数(2025年12月末時点) 108名
内訳) 石狩地区:41名
　　厚田地区:39名
　　浜益地区:28名

A1-3.漁船規模について

・こちらでは、わかりかねます。

＜次ページに続く＞

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)

★参加者からの事前質問に対する石狩市様からのご回答

【漁業・海洋環境への影響に関する質問】
Q1.貴市における漁業種類、就業者数、漁船規模及び生産数量、金額などについて

A1-4. 生産数量と金額について

魚種	数量(トン)	金額(千円)
さけ（秋サケ）	361	500,292
ニシン	1,257	434,909
ほたて(稚貝・成貝)	641	263,813
わたりがに（ガザミ）	168	168,891
しゃこ	33	86,913
なまこ	42	83,241
ひらめ	113	76,386
たこ	61	48,491

【漁業・海洋環境への影響に関する質問】
Q2.漁業振興策について

A2.

・港湾区域内で稼働している洋上風力については、「地域貢献」という観点から、GPIと漁協の協議の中で、サケやニシンの回遊調査等を実施していると聞いている。

・一般海域においては、現在、ステークホルダー（利害関係者）である6漁協が、将来の漁業の発展のために振興策を検討しているところ。

Q3.漁業への影響について

A3.
・2024年1月から運転開始している洋上風力発電事業についての影響は、特段ないと伺っている。

＜次ページ
【住民理解・合意形成・機運醸成に関する質問】へ続く＞

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)

★参加者からの事前質問に対する石狩市様からのご回答

【住民理解・合意形成・機運醸成に関する質問】

※現在運転している洋上風力発電は、港湾区域内のため、
港湾管理をしている「石狩湾新港管理組合」が所管しておりますことを、先に申し添えます。（石狩市役所様より）

Q1.この事業の実施に至る背景及び経緯について

A1.平成25（2013）年12月 港湾計画の一部変更、再生可能エネルギーを利活用する区域設定

地球温暖化対策や持続可能な社会を形成するため、再生可能エネルギーへの転換が世界的な課題となっており、港湾空間においても再生可能エネルギーの利活用が求められている中、石狩湾新港においても風力発電の導入ニーズが高まっていることから、そのニーズに対応するため平成25（2013）年12月に港湾計画の一部変更を行い、港湾区域内に再生可能エネルギーを利活用する区域を設定。

・平成26（2014）年10月 第1回検討協議会開催

石狩湾新港管理組合が、石狩湾新港における風力発電導入に関する情報を共有し、港湾の管理運営と共生した円滑な導入を図るため、関係機関及び有識者の方々に参画いただき、議論してもらう場として「石狩湾新港洋上風力発電事業検討協議会」を開催した。（※第2回 平成26（2014）年11月、第3回 平成27（2015）年3月）

・平成27（2015）年4月

同検討協議会の中で、事業者を公募するための公募要項・審査基準の策定に関する支援・助言等をもらい、取りまとめ。募集開始。

・平成27（2015）年8月 発電予定者決定

・令和　5（2024）年1月 運転開始

＜次ページへ続く＞

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)

★参加者からの事前質問に対する石狩市様からのご回答

【住民理解・合意形成・機運醸成に関する質問】

Q2.この事業の実施に至る背景及び経緯について住民から1番多かった不安や反対意見は何か？それに対して、市としてどのように説明(調整)を図ったか？また、行政として市民との調整で一番難しかった点は何か？

A2.
・風力発電への不安や反対の意見で多いのは、景観問題、騒音、シャドーフリッカーによる人体への影響、低周波、自然環境への影響、動植物への影響の声が挙げられている。

・洋上風力発電は、(港湾区域内も一般海域も同様だが)それぞれ設置する区域における国の法律に基づいて、各種手続き、段階を経て事業者を決定して、その事業者が責任をもって各影響について調査及び対応をすることとなっているため、その旨、丁寧に何度も説明をし、理解を図っている。

・一般海域においては、市民への影響についても、専門家の知見を活用して検討することが重要であると考えているところ。

＜次ページへ続く＞

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)

★市民からの事前質問に対する石狩市様からのご回答

【住民理解・合意形成・機運醸成に関する質問】

Q3.地域企業向けのワークショップまたはセミナー及び学校向けや市民に向けてのイベント等機運醸成策の実績がありました、お聞かせください。

A3.
・現在、一般海域における促進区域指定に向けて様々な取り組みを実施しているところ。

・洋上風力発電事業は、地域にとって多くの経済効果やメリットをもたらす事業だと認識。

・本市には、石狩湾新港地域に約７６０社の企業が立地しており、様々な業種の企業が集積している。洋上風力発電事業での建設・工事・Ｏ＆Ｍなど、地元企業が業務を受注できるように、企業向けのワークショップやセミナーを実施しており、洋上風力発電事業について勉強をしつつ、自社でどんな作業に関われるか、関わるには何を準備したらいいかを学んでいるところ。

・市民、特にこれからの街づくりに関わってくれるであろう子どもたちへ本市の取組や再エネ事業の理解などを伝えるイベントを毎年開催している。

＜次ページ【地域経済・雇用・人口動態に関する質問】へ続く＞

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)

★参加者からの事前質問に対する石狩市様からのご回答

【地域経済・雇用・人口動態に関する質問】

Q1.洋上風力発電事業の計画段階、工事期間、稼働後における雇用創出や経済効果はどの程度だったか。それらの段階ごとに携わった地元企業は何社だったか。

A1.

・それぞれの雇用創出（人数）は把握していないが、洋上風力発電事業に関わった地元企業はクレーン会社などが携わっており、正確な数字は把握していませんが数社程度と認識している。

・洋上風力発電の稼働後には、関係人口の増加が顕著。稼働前の視察対応受け入れ数（令和５年度）は、約５００人～６００人。稼働後は約１２００人の視察者、本市を訪れている。

・東京の杉並工科高等学校の教育旅行先として、高校と連携協定を結び、学生たちを受け入れることに繋がるなどの効果がある。

Q2.地元行政として、洋上風力発電事業のメイン企業と地元企業のマッチング手法はどのようにされたのか？

A2.

・現在稼働中の洋上風力発電においては、地元商工会議所が中心となり、地元企業の活用を促していたところ。

・現在、促進区域として指定されることを見込んでいる一般海域での事業においては、地元企業の活用や新たな雇用創出を目指し、発電事業者等のメイン企業と地元企業を繋ぐ「組織体」を立ち上げ、地元一丸となり事業を後押しする取り組みを進める準備をしているところ。

＜次ページ【総合的な事業評価・メリット・課題に関する質問】へ続く＞

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)

★参加者からの事前質問に対する石狩市様からのご回答

【総合的な事業評価・メリット・課題に関する質問】

Q1.運転を開始して実際に感じているメリットや課題を教えてください。

A1.

・メリットは、①地域価値の向上、②関係人口の増加、③他自治体との繋がりなど。

・①については、石狩湾新港地域に、洋上風力発電の他、様々な再エネが集積している全国的にも珍しいエリアを保有している。そこに大量の電力を使うデータセンターが集積。今後は、データセンターのみならず、大量の電力を使う施設（商業施設等）などを一か所に集積させ、そのエリアの施設においては、１００％地域の再エネを使用する取り組みなどを進めている。これらの取組は、先進的な取り組みとして多くの視察者、講演依頼、メディア等にも取り上げられており、地域価値の向上につながっていると認識しているところ。

・②については、洋上風力発電の稼働後には、関係人口の増加が顕著。稼働前の視察対応受け入れ数（令和５年度）は、約５００人～６００人。稼働後は約１２００人の視察者、本市を訪れている。また、東京の杉並工科高等学校の教育旅行先として、高校と連携協定を結び、学生たちを受け入れることに繋がるなどの効果がある。（再掲）

・③については、洋上風力発電が稼働しているのは全国で３か所。その内の１つの秋田市と研究会を立ち上げ、同じ目標を持つ地域同士の効率的な協力関係構築を目指すなど、広域的な連携に取り組んでいる。

・その他、発電事業者が地域貢献の観点から、市内イベント等への出展、環境教育など様々な形で地域へ貢献いただいている。

・課題感は特にありません。

＜次ページへ続く＞

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)

★参加者からの事前質問に対する石狩市様からのご回答

【総合的な事業評価・メリット・課題に関する質問】

Q2.現状及び今後20年、30年を見据えて心配していることはありますか？

A２.

・現状、心配していることはありません。

・市では再エネの地産地活を進めており、洋上風力で作られた電力を地域で活用することを考えているため、洋上風力発電事業が30年先も継続し、地域に電力を供給してもらえるよう取り組んでまいりたいところ。

【生活・周辺環境(騒音・交通・調査)に関する質問】

Q１.風車騒音、地震、津波、洋上風力の機器トラブルなどの対策はどうなっていますか？

A1.

・風車は陸域から、１．６㎞離れており、音は聞こえません。

・本市は、地震が少ない地形であり、それに伴い津波も心配が少ない地域。

・機器トラブルは、発電事業者が責任をもって対策を取っていると認識しております。

＜次ページへ続く＞

洋上風力発電視察　１日目　８月２０日（木）

⑴ 石狩市役所(企画政策部　企業連携推進課)

★参加者からの事前質問に対する石狩市様からのご回答

【生活・周辺環境（騒音・交通・調査）に関する質問】

Q2.建設中及び建設工事終了（売電開始）後の環境影響調査（水質、騒音、振動、電磁波等）を含む環境影響調査について、調査時期、項目等詳細は手法を教えていただきたい。

A2.

・環境影響調査は、発電事業者が実施。事業者が公開した環境影響評価報告書（令和７年１０月公表）より抜粋。
【事後調査項目・手法・結果】

◆事後調査項目：バードストライクの有無

◆事後調査を実施した理由
・環境保全措置を講じるものの、バードストライクの予測には不確実性が伴うことから、事後調査を実施

◆調査の手法
・漁業関係者にも協力を要請し、目視等による調査を実施した。また、風力発電機の保守点検時にもプラットフォーム等における死骸等の有無の確認を実施。
・調査期間と頻度は、稼働後１年間の実施とし、調査後は専門家の意見を踏まえて継続の要否を判断。頻度は１週間に１回程度とし、保守点検時にも確認を行った。

◆調査結果
・調査実施日において鳥類の死骸などは確認されなかった。しかしながら、保守点検時において２号機ナセル上部にてコウモリ類の死骸が確認された。

＜★市民からの事前質問に対する石狩市様からのご回答＞以上

洋上風力発電視察　２日目　８月２１日（金）

⑵ GPI（グリーンパワーインベストメント）意見交換

石狩市商工会議所にて、発電事業者であるGPIより、GPIの概要、風車部品や関連施設（蓄電所など）について、GPIが手がける石狩洋上での事業概要等について説明を受けた。
そして、参加者からの質疑応答後、石狩湾新港の西埠頭を訪れ、「石狩湾新港洋上風力発電所」の風車（全14基）を間近で見学した。





GPI　説明時の写真

洋上風力発電視察　２日目　８月２１日（金）

⑵ GPI（グリーンパワーインベストメント）意見交換



石狩湾新港洋上風力発電所



風車見学時の写真

※意見交換会の内容及び事前質問に対する回答等については、事業所側の意向により非公表とさせていただきます。

洋上風力発電視察　アンケート（設問）

▶洋上風力発電に対する理解促進等の効果を測定するため、視察に参加した市民20名に対し視察後アンケートを実施しました。

■アンケート

1．年代　□ 20代　□ 30代　□ 40代　□ 50代　□ 60代　□ 70代以上

2．性別　□ 男性　□ 女性　□ その他

3．居住地域はどちらですか。
□ 市内沿岸部（ 羽島・荒川・野平・本浦・照島・湊・湊町・川南 ）□ 市内内陸部（ 冠岳・生福・旭・上名・大原・中央・川北・川上 ）

4．今回の視察全体の満足度をお教えください。
□ 非常に満足　□ 満足　□ 普通　□ 不満足

5．洋上風力発電についてどの程度知っていましたか。
□ よく知っていた　□ ある程度知っていた　□ 名前は知っていた　□ ほとんど知らなかった

6．洋上風力発電についての理解は深まりましたか。
□ とても深まった　□ やや深まった　□ あまり変わらない　□ 全く変わらない

7．視察で印象に残ったものは何ですか。（複数回答可）
□ 石狩市との意見交換　□ 合同会社グリーンパワー石狩 OM事務所・説明
□ 実際の風車の見学　□ その他（自由記入）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

8．洋上風力発電に対するあなたの関心はどう変化しましたか。
□ 大きく高まった　□ やや高まった　□ 変わらない　□ 下がった

9．洋上風力発電の必要性についてどう思いますか。
□ 非常に必要だと思う　□ 必要だと思う　□ あまり必要だと思わない　□ 全く必要ないと思う

洋上風力発電視察　アンケート（設問）

▶洋上風力発電に対する理解促進等の効果を測定するため、視察に参加した市民20名に対し視察後アンケートを実施しました。

■アンケート

10．洋上風力発電に期待する効果は何ですか。（複数回答可）

□ 再生可能エネルギーの普及　□ CO_2削減など環境保全　□ 地域経済の活性化

□ 雇用の創出　□ その他（自由記入）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

11．洋上風力発電に関して懸念していることは何ですか。（複数回答可）

□ 景観への影響　□ 漁業・海洋環境への影響　□ 騒音や低周波音　□ 観光やレジャーへの影響

□ その他（自由記入）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

12．視察の内容は理解しやすかったですか。

□ 非常に分かりやすかった　□ 分かりやすかった　□ あまり分かりやすくなかった　□ 難しかった

13．石狩市の取組は本市の参考になると思いましたか。

□ 大いに参考になる　□ ある程度参考になる　□ あまり参考にならない　□ 全く参考にならない

14．本市の洋上風力発電に関する議論に、今後どのような形で関わりたいですか。（複数回答可）

□ 情報発信に協力したい　□ 自分の意見を市に届けたい　□ 特に関わるつもりはない

15．市は洋上風力発電の検討過程をどの程度公開すべきだと思いますか。

□ すべて公開すべき　□ できる限り公開すべき　□ 一部のみでよい　□ 必要ない

16. 今後も、このような視察は必要だと思いますか。

□ 必要である　□ ある程度必要である　□ あまり必要でない　□ 必要でない

■感想文（自由記述）

※今回の視察を通じて感じたこと、学んだこと、ご意見・ご要望などをご自由にお書きください。

（例：印象に残ったこと、参考になったこと、自分の考え方の変化など）

洋上風力発電視察　アンケート集計結果

1．年代

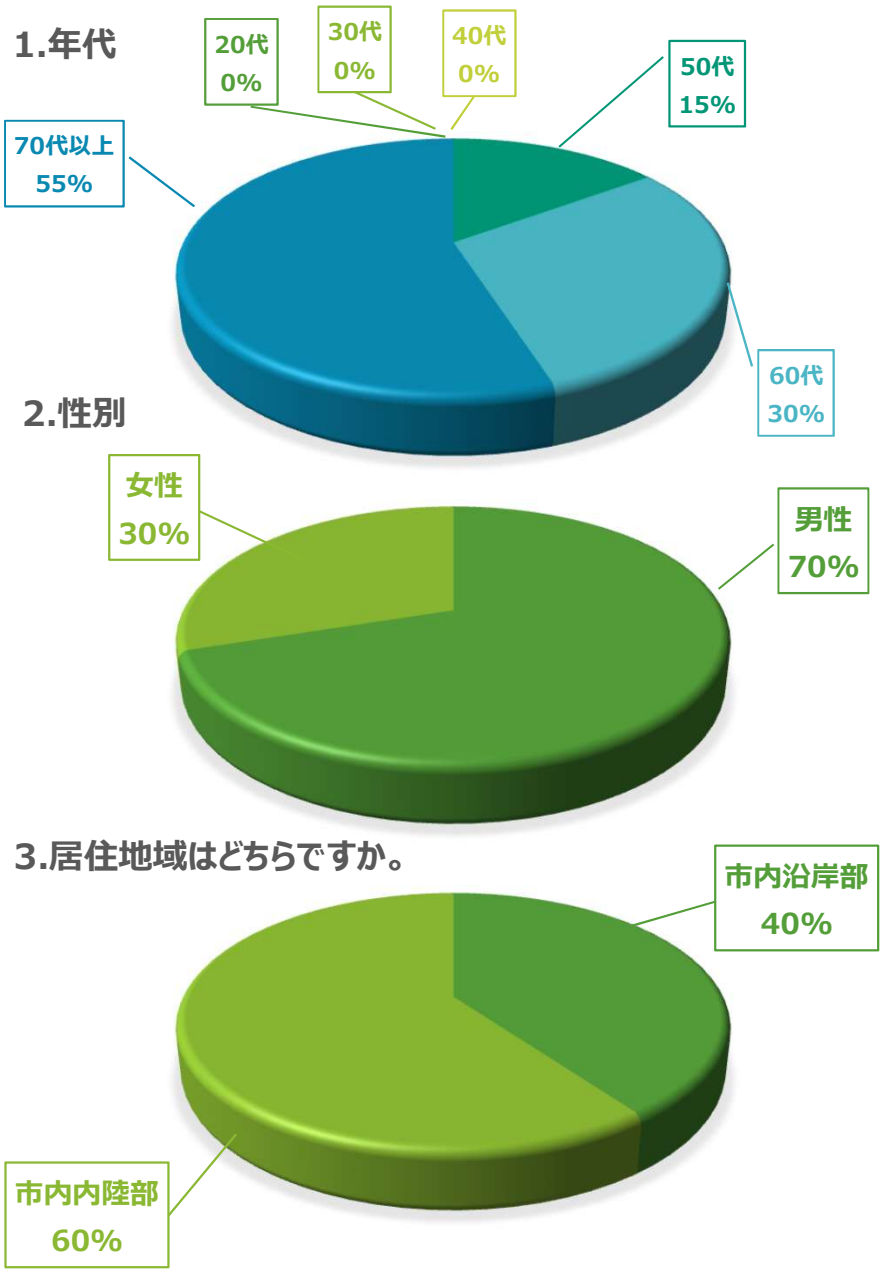
□ 20代	0	-
□ 30代	0	-
□ 40代	0	-
□ 50代	3	15%
□ 60代	6	30%
□ 70代以上	11	55%
	20	100%

2．性別

□ 男性	14	70%
□ 女性	6	30%
	20	100%

3．居住地域

□ 市内沿岸部	8	40%
（羽島/荒川/野平/本浦/照島/湊/湊町/川南）		
□ 市内内陸部	12	60%
（冠岳/生福/旭/上名/大原/中央/川北/川上）		
	20	100%

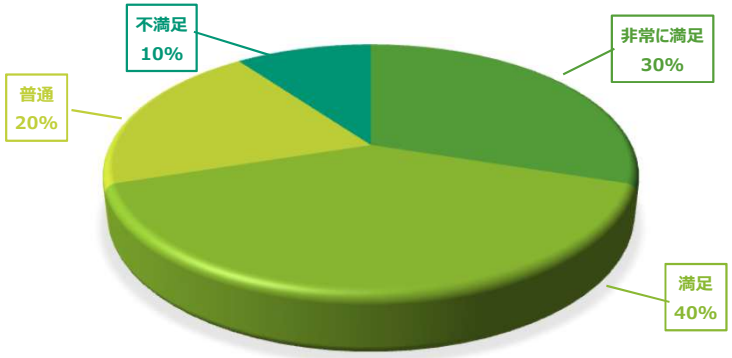


洋上風力発電視察　アンケート集計結果

4．今回の視察全体の満足度を教えてください。

□ 非常に満足	6	30%
□ 満足	8	40%
□ 普通	4	20%
□ 不満足	2	10%
	20	100%

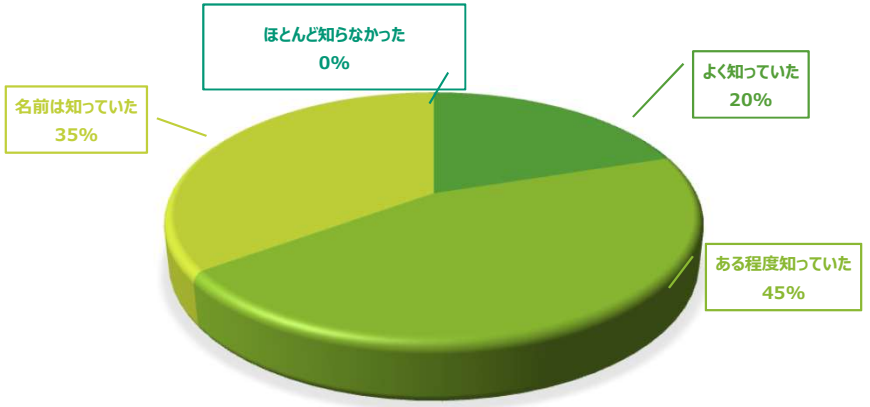
4.今回の視察全体の満足度を教えてください。



5．洋上風力発電についてどの程度知っていましたか。

□ よく知っていた	4	20%
□ ある程度知っていた	9	45%
□ 名前は知っていた	7	35%
□ ほとんど知らなかった	0	0%
	20	100%

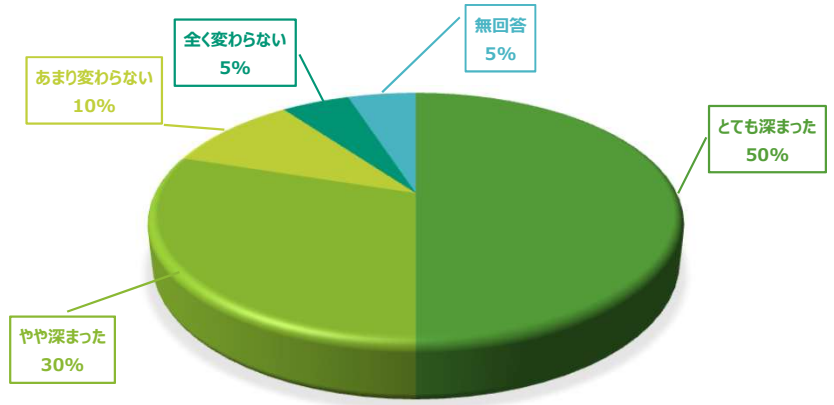
5.洋上風力発電発電についてどの程度知っていましたか。



6．洋上風力発電についての理解は深まりましたか。

□ とても深まった	10	50%
□ やや深まった	6	30%
□ あまり変わらない	2	10%
□ 全く変わらない	1	5%
□ 無回答	1	5%
	20	100%

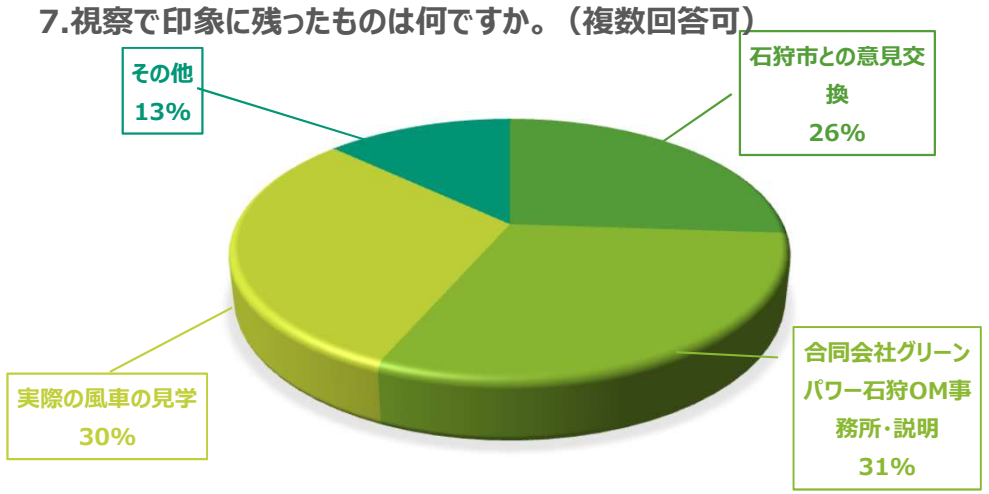
6.洋上風力発電についての理解は深まりましたか。



洋上風力発電視察　アンケート集計結果

7．視察で印象に残ったものは何ですか。（複数回答可）

□ 石狩市との意見交換	12	26%
□ 合同会社グリンパワー石狩OM事務所説明	14	31%
□ 実際の風車の見学	14	30%
□ その他（自由記入）	7	13%
	47	100%



●その他（自由記入）の内訳(一部抜粋簡略化して掲載しています)

・洋上風力の陸上からの距離が非常に近かった。
（船で見学すると思っていた。）

・時代の流れを感じました。五島→秋田→石狩、洋上風力発電の内容が大きく変化している。

・（洋上風車）あの壮大さに感動しました

・串木野に建てようとしているのは大きさ、基数が違う事を考えると絶対反対の気持ちが強まった。

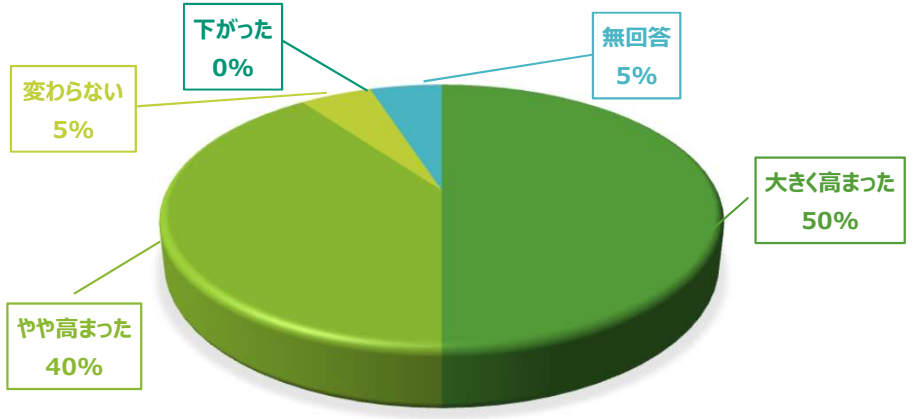
・蓄電池の可能性、離岸距離、市としてエネルギーミックス（バランス）方針が明確、地域課題解決の事業として位置付けている。

洋上風力発電視察　アンケート集計結果

８．洋上風力発電に対するあなたの関心はどう変化しましたか。

□ 大きく高まった	10	50%
□ やや高まった	8	40%
□ 変わらない	1	5%
□ 下がった	0	-
□ 無回答	1	5%
	20	100%

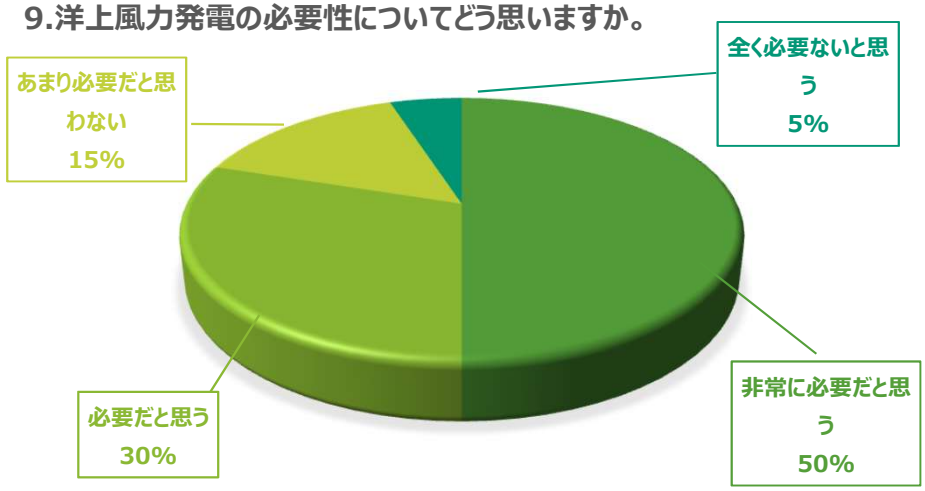
8.洋上風力発電に対するあなたの関心はどう変化しましたか。



９．洋上風力発電の必要性についてどう思いますか。

□ 非常に必要だと思う	10	50%
□ 必要だと思う	6	30%
□ あまり必要だと思わない	3	15%
□ 全く必要ないと思う	1	5%
	20	100%

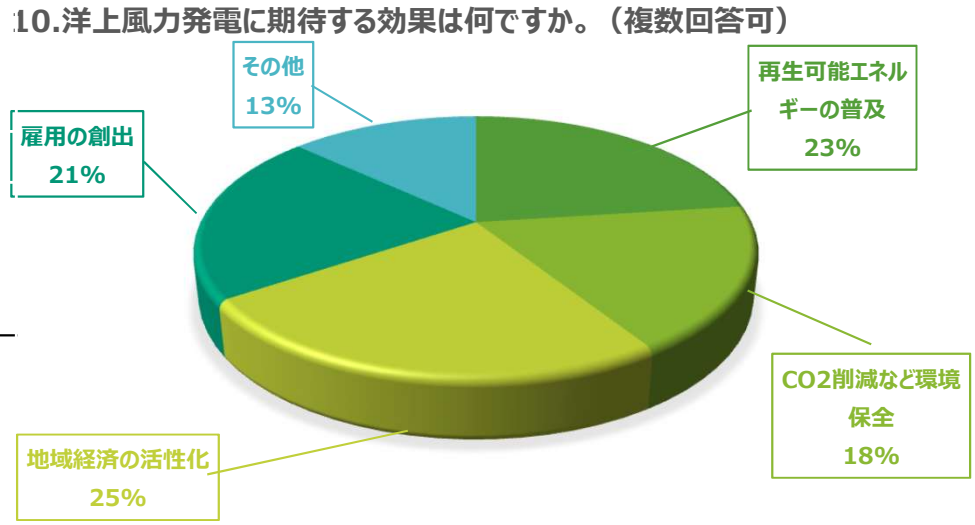
9.洋上風力発電の必要性についてどう思いますか。



洋上風力発電視察　アンケート集計結果

10．洋上風力発電に期待する効果は何ですか。（複数回答可）

□ 再生可能エネルギーの普及	14	23%
□ CO2削減など環境保全	11	18%
□ 地域経済の活性化	15	25%
□ 雇用の創出	13	21%
□ その他（自由記入）	8	13%
	61	100%



●その他（自由記入）の内訳(一部抜粋簡略化して掲載しています)

・地球温暖化防止

・観光への可能性

・市の経済、人口減少の対策

・漁業振興

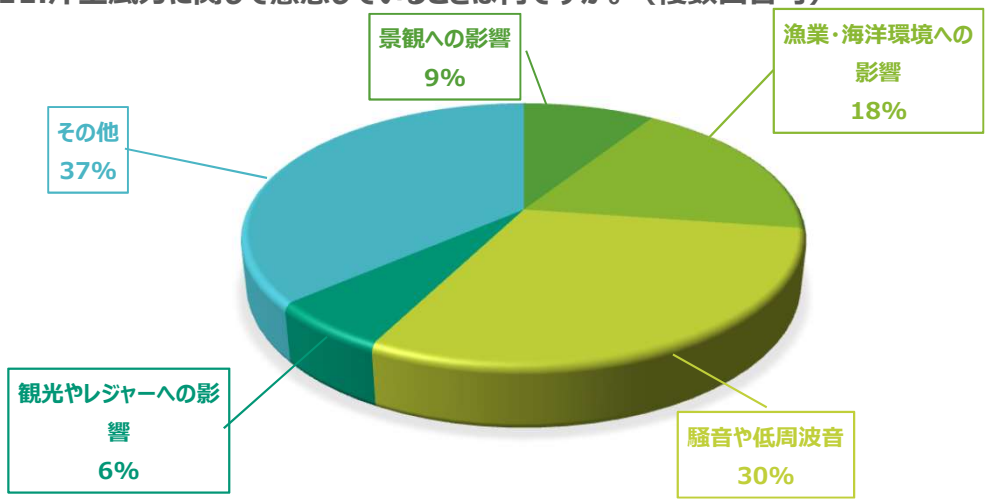
・エネルギー関連に対する教育分野の発展、地域全体の活性化

洋上風力発電視察　アンケート集計結果

11．洋上風力発電に関して懸念していることは何ですか。（複数回答可）

□ 景観への影響	3	9%
□ 漁業・海洋環境への影響	6	18%
□ 騒音や低周波音	10	30%
□ 観光やレジャーへの影響	2	6%
□ その他（自由記入）	12	37%
	33	100%

11.洋上風力に関して懸念していることは何ですか。（複数回答可）



●その他（自由記入）の内訳(一部抜粋簡略化して掲載しています)

・特に健康被害が心配です。

・景観を懸念していましたが、あの壮大さにその心配は無くなりました。

・景観は気にならなかった。むしろカッコ良かった。作った電力を活用しどう雇用に活かすか。

・全てに悪影響です。風車で市民も街も壊される。市民側を向いた市政を進めてほしい。

洋上風力発電視察　アンケート集計結果

12.　視察の内容は理解しやすかったですか。

□ 非常に分かりやすかった	7	50%
□ 分かりやすかった	12	40%
□ あまり分かりやすくなかった	0	5%
□ 難しかった	0	-
□ 無回答	1	5%
	20	100%

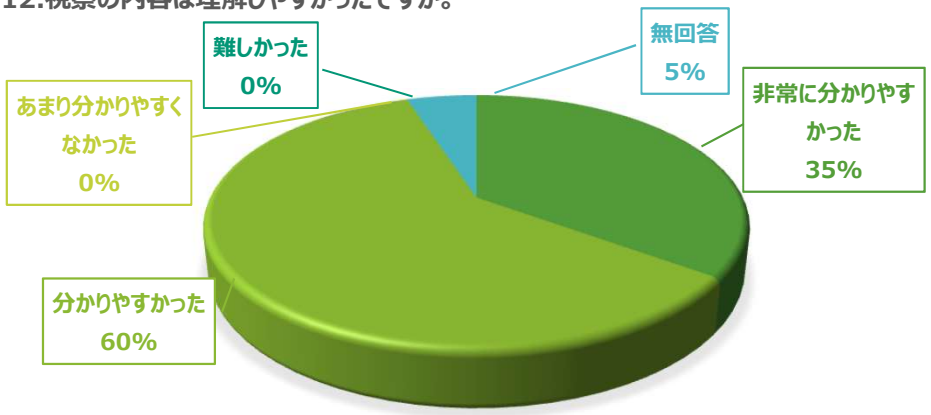
13.　石狩市の取組は本市の参考になると思いましたか。

□ 大いに参考になる	10	50%
□ ある程度参考になる	8	40%
□ あまり参考にならない	0	-
□ 全く参考にならない	2	10%
	20	100%

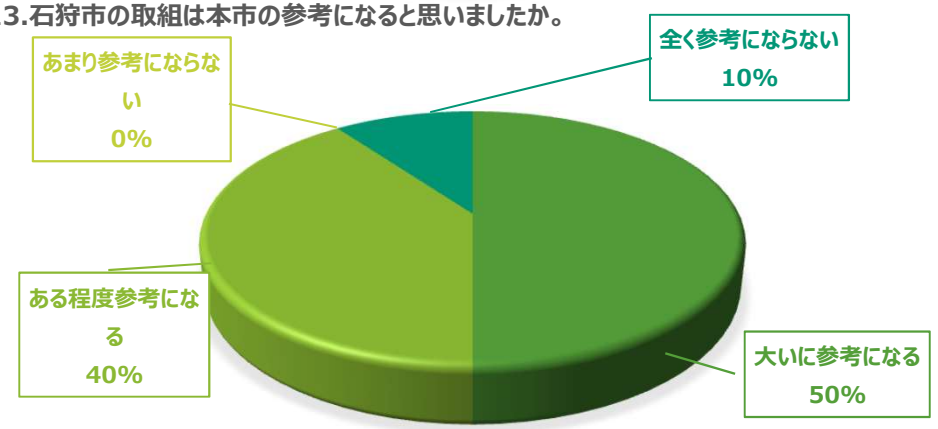
14.　本市の洋上風力発電に関する議論に、今後どのような形で関わりたいですか。（複数回答可）

□ 情報発信に協力したい	14	58%
□ 自分の意見を市に届けたい	9	38%
□ 特に関わるつもりはない	1	4%
	24	100%

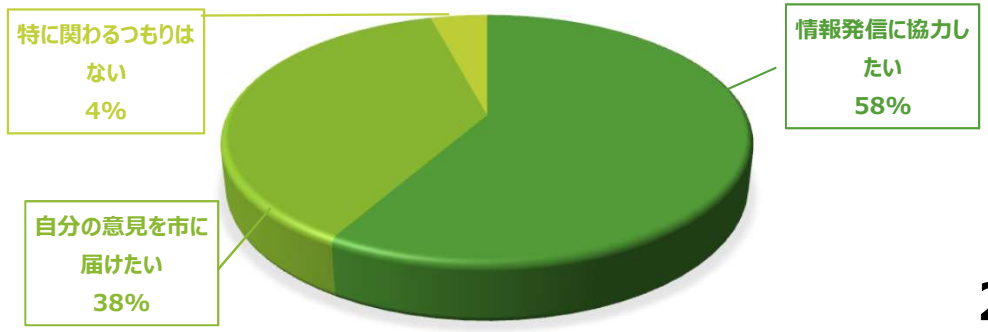
12.視察の内容は理解しやすかったですか。



13.石狩市の取組は本市の参考になると思いましたか。



14.　本市の洋上風力発電に関する議論に、今後どのような形で関わりたいですか。（複数回答可）

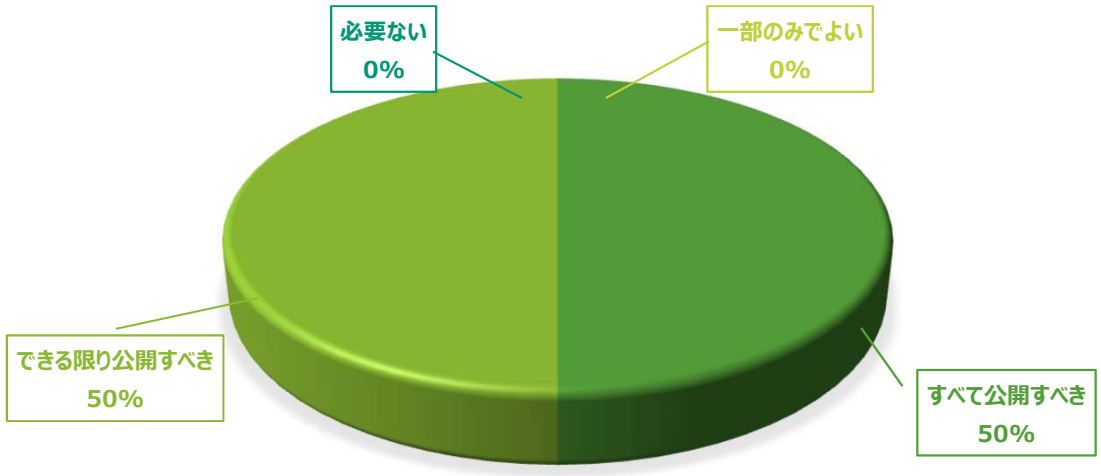


洋上風力発電視察　アンケート集計結果

15.　市は洋上風力発電の検討過程をどの程度公開すべきだと思いますか。

□ すべて公開すべき	10	50%
□ できる限り公開すべき	10	50%
□ 一部のみでよい	0	-
□ 必要ない	0	-
	20	100%

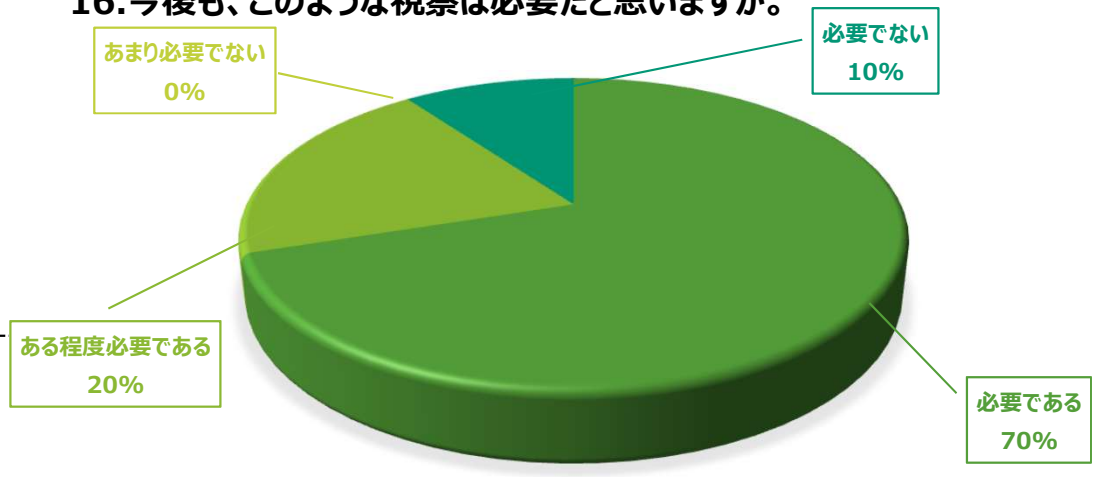
15.市は洋上風力発電の検討過程をどの程度公開すべきだと思いますか。



16.　今後も、このような視察は必要だと思いますか。

□ 必要である	14	70%
□ ある程度必要である	4	20%
□ あまり必要ではない	0	-
□ 必要でない	2	10%
	20	100%

16.今後も、このような視察は必要だと思いますか。



洋上風力発電視察　アンケート集計結果(感想文)

▶今回の視察を通じて感じたこと、学んだこと、ご意見・ご要望など自由記述したものを一部抜粋・簡略化して掲載しております。

① 今回、石狩市の先進事例を実際に見ることができ、大変参考になりました。一方で石狩新港と本市では周辺の環境や海と市民の暮らしとの関わり方が大きく異なると感じました。石狩新港は住居が少なく、空き地や工場、エネルギー関連施設などがある地域でしたが、本市では海が生活のすぐそばにあり、夜には波の音が聞こえるほど、海と市民の暮らしが近い地域です。そのため、石狩市で得られた経済効果や地域活性化の事例を参考にしながらも、そのまま本市に当てはめるのではなく、本市独自の環境・漁業・産業。住民の生活への影響を十分に調査する必要があると感じました。事業を判断するための材料を市民が十分に持てるよう検討の過程や調査結果、専門家の評価。賛成・反対双方の意見を含め可能な限り公開してほしいです。本市は「食のまち」です。ちりめんじゃこ、まぐろ、薩摩揚げなど海との暮らしが直接つながっています。私は海の環境への影響についてはまだ十分に理解できていません。事前アンケートで質問した内容について回答をいただいていないため、今後も情報を得ながら自分なりに考えたいと思います。研修では実際にその地域で暮らしている住民の方々が洋上風力発電をどのように感じているのかという「地元の声」を聞く機会がほとんどありませんでした。賛成・反対の双方えお含め、住民の率直な声を聞いてみたかったです。今回の視察を通じて、単純に「良い」「悪い」と決めるのではなく、経済・雇用・人口・産業・漁業・海の環境などさまざまな面から長い時間をかけて考えることが大切だと感じました。私たちのまちの海、漁業・食・産業そしてこれからの子どもたちのことまで含めてどんなまちを残していきたいのかの視点が1番重要だと考えます。

② 最後に洋上風力を視察し、海上に建っているので騒音が全く気にならなかった。耳を澄まさないと音は聞こえなかった。わずかな風で回転しており、天候、昼夜に影響されやすいソーラー等に比較し、電力効率が高くロスがかなり少ないのではないかな？と思った。（とても大事なことです）また、石狩市では、埋立地、及び、陸地よりすぐ近くの浅い水深地に立地しており、いちき串木野市とかなり立地条件が違うので施工費はかなり高くなるのではと思いました。ただ、洋上風力については、海上に建設するとのことで、工事施工～運転、稼働まで地域の皆さんに迷惑をかけなくて良い。また、電圧変動のない、蓄電池送電には感心しました。

③ 数年で洋上風力発電事業の○○（技術？）で必要とされるスペックが大きく変化している。市でも、数年先を見越したプランが必要と思いました。洋上風力発電の必要性は変わらないが、誘致する企業の要望をよく○○（選定？検討？吟味？）する必要がある。AI、DX、データセンター、蓄電池、データのsociety等、時代は大きく動きますので。

洋上風力発電視察　アンケート集計結果(感想文)

▶今回の視察を通じて感じたこと、学んだこと、ご意見・ご要望など自由記述したものを一部抜粋・簡略化して掲載しております。

④　グリーンパワー石狩様の説明は私達主婦にもわかりやすかったと思います。また、新港視察では会社の方に直接聞ける事もあり疑問点も納得できました。環境問題等まだまだ解決されない事も多いと思いますが色々な事をクリアして前進する事も大切だと思います。

⑤　百聞は一見にしかずでした。参加して、役所や企業の取り組みが勉強になりました。課題はいろいろ山積中ですが、ひとつずつクリアして、将来、子供や孫達がよりよくなればと思いました。過疎化の脱却になれば

⑥　石狩市が国、県、関係企業団体、市民等と積極的にカーボンニュートラルに取り組み現在に至っていることを感じ、更には、海洋再エネ整備法の施行に伴い、一般海域に大規模な洋上風力発電所の計画を進められていることはいちき串木野市も同様であり、今後の有望区域の指定及び法定協議会の設置等、関係機関と協議等を進め取り組んでいかれることを期待しています。

⑦　今回、私にとっての洋上風力発電先進地視察は自分の目で見てみたいとの思いがあったので、応募し抽選で行けたのでよかったと思います。今までの２回の視察は、市民への公募はなかったようなので、今回市民への視察は、ひらかれたものだと思いました。抽選も、公平によかったと思います。今回、石狩は、港湾視察だったので、いちき串木野市の一般海域とは規模も違うようなので、同じような実物を見たかったです。広大な土地がないと、色々な建物、施設の建設はむずかしいと思いました。いちき串木野市が栄え、発展する事は大事だと思いました。誰もが、楽しく笑って過ごせる、いちき串木野市であることを希望します。今回、参加させて頂き、有意義な1泊2日となりました。色々とお世話になりありがとうございました。

⑧　風車のジャケット以外は外国製と聞き、残念な事だと感じました。日本は原子力、火力は先進していると思いますが、再生エネルギーに関しては、出遅れてしまったと痛切に感じました。官民で、もっと力を入れてほしいものです。

洋上風力発電視察　アンケート集計結果(感想文)

▶今回の視察を通じて感じたこと、学んだこと、ご意見・ご要望など自由記述したものを一部抜粋・簡略化して掲載しております。

⑨　絶対反対！市民にも街にも全てプラスにならない。石狩と私達の街とは規模が違いすぎる。石狩の工業団地は3,000ha、西薩工業団地は50ha。60倍も違う。石狩は学校施設が沿岸より4㎞以上離れている。串木野は沿岸から1㎞以内に保・幼・小・中・高・病院が50近く有る。低周波音で子ども達の体は壊される。自然は壊され、美しい夕陽の景観は失い、日常生活はシャドーフリッカーで狂わされてしまう。鹿児島県の電気量は十分足りていて、7万世帯分捨てられている。市民の健康や生活を犠牲にして、大企業と市の一部の業者が儲け、大都会が潤うだけのあまりにもお粗末な事業です。安全で安心して暮らせる街づくりが市政の第一義です。

⑩　私は市内の内陸部に居住しており、週に2～3回ほどの朝の散歩で串木野港まで歩いています。最近の港には、「馬毛島開発」に関係するクレーン作業船や海上タクシーなど、数種類の船が調整のために係留され、他県ナンバーの車も見かけます。数年前までは少し寂しさを感じていた港が、人や船の往来によって活気を帯びていることを実感しています。
いちき串木野市の沖合に「洋上風力発電計画」があることは、市の広報などを通じて知っていました。しかし、これまでは正直なところ、具体的なイメージを持つまでには至っていませんでした。今回、「百聞は一見に如かず」「体力が在るうちに」と思い、「洋上風力発電先進地視察・北海道石狩市」に応募したところ、幸いにも抽選で視察の機会をいただきました。20日は石狩市職員の皆様から、21日は発電所事業者の皆様から、計画の立案から施設の完成、そして現在の稼働に至るまで、丁寧な説明をいただきました。実際の現地を見ながら説明を聞くことで、洋上風力発電事業について、これまでより具体的に理解することができました。
今回の視察で特に印象に残ったのは、石狩湾新港にある洋上風力発電施設の壮大さです。また、バスからの見学ではありましたが、蓄電設備の規模が非常に大きかったことにも驚きました。
そして、もう一つ強く印象に残ったことがあります。それは、石狩湾新港の岸壁に昆布などの海藻がたくさん付着し、その周辺を小魚（ベイト）が数多く泳いでいたことです。普段歩いている串木野漁港の岸壁では牡蠣殻などは見かけますが、魚が泳いでいる姿をあまり見かけません。そのため、石狩湾新港の岸壁に海藻が生え、そこに小魚が集まり、さらにウニなども生息し、それらを餌とする大型魚もいるという光景には大きな興味を持ちました。
「洋上風力発電施設の基礎部分が漁礁となる可能性が高い」との説明を聞いた時、現地で実際に見た海の様子と結び付き、洋上風力発電が単に電力を生み出す施設だけではなく、海洋環境や漁業にも良い影響を与える可能性があるのではないかと、想像が大きく膨らみました。
今回の視察を通じて、洋上風力発電に対する私自身の認識も大きく変わりました。仕事柄、多くの方々と接する機会がありますので、今回学んだことを周囲にも伝えながら、いちき串木野市における洋上風力発電事業の推進に、微力ながら応援していきたいと思います。

洋上風力発電視察　アンケート集計結果(感想文)

▶今回の視察を通じて感じたこと、学んだこと、ご意見・ご要望など自由記述したものを一部抜粋・簡略化して掲載しております。

⑪　今回、洋上風力発電の視察に参加させて頂きありがとうございました。自分の感じた事で、いちき串木野市にとって、国家備蓄基地事業以来のスケールの大きい大事業だと思いました。是非、いちき串木野市にこの事業の実現が出来る様に願っています。

⑫　漁業関係者である我々においては、これまでも数回の視察、研究会を通して、ある程度は理解しているつもりであるが、一般の市民にはまだまだ情報が行き届いていない様に思われる。説明会も含め、一般公募の機会を増やして、さらに市民の理解を深めることが必要と思われる。

⑬　飛行機の遅れがあり、石狩市の取組や説明をもう少し聞きたかった。一般海域でも現在取組中との事で、今後の本市にとっても参考になると感じた。現在の港湾区域での運転が始まり、交流人口の増加、経済循環、市内企業の共存共栄、市民への還元が実現できているとの事で、本市も理想とする事である。少しでも早く本市沖にも建設されることを願います。

⑭　港湾区域と一般区域との違いはあれど、先進地を確認できることは参考になる。過去、経験に学ぶものは大きい。地域経済の活性化はあれど、地元企業（業界）を巻き込む難しさ、教育を関連付ける必要性などを学んだ。本市が描いている（説明している）構想や可能性について、実現可能性を確認出来る時間があっても良い。市としても、先進地視察を活かした報告会（市民向け）で、理解促進して行くことも必要と感じました。